



合格証書を手にする藤原海斗さん(左)と瀬戸修二さん＝多可高校

パソコン技能競技全国大会へ

多可高校(多可町中区東山) 普通科情報ビジネス類型の3年、瀬戸修二さん

(18)＝同町と藤原海斗さん(17)＝西脇市が、8日に名古屋市で開かれる「第39回全国パソコン技能競技大会」の情報処理技能種目に出場する。7月13日にコンピュターの活用能力を判定する「情報処理技能検定試験」の表計算で1級に合格し、出場権を得た。

同大会は日本情報処理検定協会が主催。出題されたデータから表計算ソフトを使って制限時間20分以内に表を作成し、スピードや正

多可高の瀬戸さんと藤原さん

情報処理1級取得し出場権

確性を競う。

試験勉強を指導したのは、3学年主任の赤穂大輔教諭。2021年度に同校へ赴任した赤穂教諭によると、2人を含む同類型の3年生17人は、2年生の時から授業で試験勉強を開始。これまでなら2年生の間だけ試験勉強をしていたが、2人が準1級に合格したところなどから3年生以降も試験勉強を継続し、念願の1級合格を勝ち取った。

瀬戸さんは「小さいころからパソコンには触ってきた」、藤原さんは「高校から本格的にパソコンを学ん

だ」と話す。

試験では「覚えているところがよく出てきて、『これはいける』と自信があった」と瀬戸さん。一方の藤原さんは「間違っていたところがあり、大丈夫か不安だったが、合格できて良かった」と振り返る。

「パソコンでいろんな編集ソフトなどを学べて面白かった。できれば将来の仕事にも生かしたい」と語る2人。全国大会に向け、瀬戸さんは「いい成績を残したい」、藤原さんは「ミスなく満点で終わりたい」と意気込みを語る。(金井恒幸)